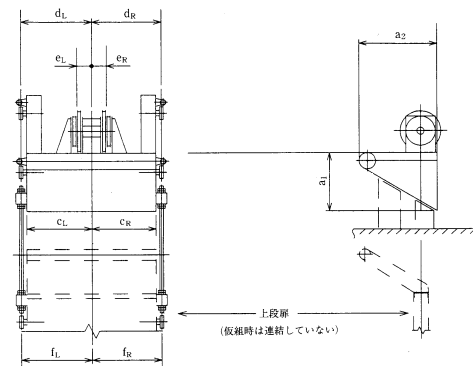
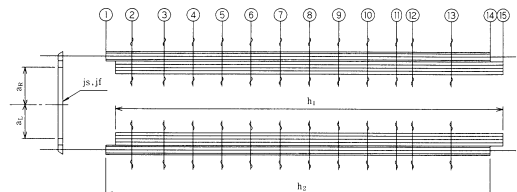
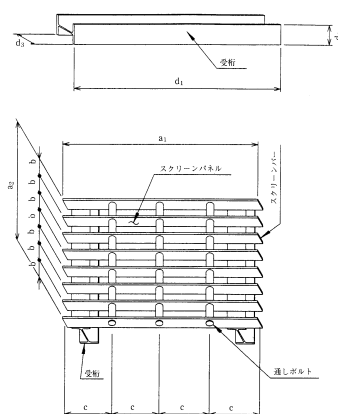


(5) 直線多段式ゲート

工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準	
水門設備 2. ダム用水門設備 (5) 直線多段式ゲート (製作)	1. 扉体	A 扉体幅 (a)	±5 (a L、a R)	上下各1箇所を鋼製巻尺で測定する。	
		A 扉体高 (b)	±10	左右各1箇所を鋼製巻尺で測定する。	
	A 主桁の高さ (c)	B.H<0.5 ±2 0.5≤B.H<1.0 ±3 1.0≤B.H ±4	各桁中央を鋼製巻尺で測定する。 B: フランジ幅 (m) H: 腹板高 (m)		
	A 端縦桁の高さ (d)	B.H<0.5 ±2 0.5≤B.H<1.0 ±3 1.0≤B.H ±4	左右各上中下3箇所を鋼製巻尺で測定する。 B: フランジ幅 (m) H: 腹板高 (m)		
	A 水密ゴム受座面から主ローラ踏面までの距離 (e)	±3	左右各上中下3箇所をレベル、金属製直尺で測定する。		
	A 対角長の差 (f)	10	鋼製巻尺で測定する。 (f =  f <sub>1</sub> - f <sub>2</sub>  )		
	A 主ローラ支間長 (g)	±5 (g L、g R)	各ローラ間を鋼製巻尺で測定する。		
	A 主ローラ中心間距離 (h)	±5	鋼製巻尺で測定する。		
	A 主ローラから扉体下端までの距離 (i)	±5	鋼製巻尺で測定する。		
	A 主ローラ踏面の偏差 (j)	1	レベル、金属製直尺で測定する。		
	B 主ローラ踏面からサイトローラの距離 (k)	±5	鋼製巻尺で測定する。		
	B 水密ゴム受座距離 (ℓ)	+5、-3 (ℓ L、ℓ R)	高さ3mごとに鋼製巻尺で測定する。		
	B 吊り中心間隔 (m)	±5 (m L、m R)	鋼製巻尺で測定する。(上段扉)		
	A 主桁間隔 (n)	±5	左右各1箇所を鋼製巻尺で測定する。		
	B サイトローラ間隔 (o)	±5 (o L、o R)	鋼製巻尺で測定する。		
	B 吊り中心とスプレートの距離 (p)	±3	鋼製巻尺、金属製直尺等で測定する。(上段扉)		
	A 底部の曲がり (q)	±3	レベル、金属製直尺等で測定する。 (下段扉着地の場合)		
	A 取水盤呑口形状寸法 (r)	±3	鋼製巻尺で測定する。		
	A 取水盤張出し長さ (s)	±5	鋼製巻尺で測定する。		
	B スキンプレート面 (t)	3小型ゲート※ 5中型ゲート 7大型ゲート	平面度	fの対角基準点4点とその交点の計5点をレベル、金属製直尺で測定する。	
	±3	真直度	高さ2mごと幅方向に5箇所測定する。		

測定箇所標準図	摘要
<p>1. 扉体</p>	<p>※ 小型ゲート：扉体面積 10 m<sup>2</sup>未満          中型ゲート：扉体面積 10 m<sup>2</sup>以上 50 m<sup>2</sup>未満          大型ゲート：扉体面積 50 m<sup>2</sup>以上</p>

工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準	
水門設備 2. ダム用水門設備 (5) 直線多段式ゲート(製作)	2. 整流板	A 整流板形状 (a)	±5	鋼製巻尺で測定する。	
		A 整流板幅 (c)	±5 (c L、c R)	鋼製巻尺で測定する。	
		A 整流板中心から 付 roller 中心までの距離 (d)	±5 (d L、d R)	鋼製巻尺で測定する。	
		B シーフの間隔 (e)	±5 (e L、e R)	鋼製巻尺で測定する。	
		B 連結ロッドの間 隔 (f)	±3 (f L、f R)	鋼製巻尺で測定する。	
	3. 戸当り	A 純径間 (a)	+3、-5 (a L、a R)	鋼製巻尺で測定する。	
		A ローラ踏面板 の厚さ (c)	+5、-0	高さ5mごとに金属製直尺等で計測する。	
		B 戸溝の幅 (e)	±3	高さ5mごとに鋼製巻尺、金属製直尺等で測定する。	
		B 主ローラ踏面板と水密板との 間隔 (f)	±3	高さ5mごとに金属製直尺等で測定する。	
		B 戸当り高さ (h)	±10	鋼製巻尺で測定する。	
		A 戸当り桁高さ (i)	BH<0.5 ±2 0.5≤BH<1.0 ±3 1.0≤BH ±4	高さ5mごとに鋼製巻尺で測定する。 B: フランジ幅(m) H: 腹板高(m)	
		B 底部戸当り表面 (j)	3	真直度 (j <sub>s</sub> )	水平基準からの距離を金属製直尺で測定する。
			1mm/m	平面度 (j <sub>f</sub> )	長さ1mの金属製直尺で測定する。
		A 主ローラ踏面板 (k)	2 (4)	真直度 (k <sub>s</sub> )	水平基準からの距離を金属製直尺で測定する。 ( )内は軽構造部
			2mm/m	平面度 (k <sub>f</sub> )	長さ1mの金属製直尺で測定する。
	A 側部水密面 (l)	2	真直度 (l <sub>s</sub> )	水平基準からの距離を金属製直尺で測定する。	
		2mm/m	平面度 (l <sub>f</sub> )	長さ1mの金属製直尺で測定する。	
	B 付 roller 踏面板 (m)	5	真直度 (m <sub>s</sub> )	水平基準からの距離を金属製直尺で測定する。	
		2(3)mm/m	平面度 (m <sub>f</sub> )	長さ1mの金属製直尺で測定する。( )内は軽構造部	
	4. スクリーン	B スクリーンパネル寸法 法 (a)	±10	鋼製巻尺で測定する。(縦、横)	
B スクリーンパネルのピッチ (b)		±2	左右各1箇所を鋼製巻尺で測定する。		
B 通しボルトのピッチ (c)		±3	鋼製巻尺で測定する。		
B スクリーン受桁の外形 寸法 (d)		±5	鋼製巻尺で測定する。		

測定箇所標準図	摘要
<p>2. 整流板</p>  <p>3. 戸当り</p>  <p>4. スクリーン</p> 	

工 種	分 類	項 目	管理基準値 (mm)	測 定 基 準	
水門設備 2. ダム用水門設備 (5) 直線多段式ゲート(据付)	1. 扉体	A	扉体幅 (a)	$\pm 5$ (a L, a R)	上下各1箇所を鋼製巻尺で測定する。
		A	扉体高 (b)	$\pm 10$	左右各1箇所を鋼製巻尺で測定する。
		A	水密ゴム受座 面から主ローラ 踏面までの 距離 (e)	$\pm 3$	左右各上中下3箇所を金属製直尺、下げ振り、ピアノ線等で測定する。
		A	主ローラ支間長 (g)	$\pm 5$ (g L, g R)	各ローラ間を鋼製巻尺で測定する。
		A	主ローラ踏面の 偏差 (j)	1	金属製直尺、下げ振り、ピアノ線等で測定する。
		B	水密幅 ( $\theta$ )	+5, -3 ( $\theta$ L, $\theta$ R)	高さ3mごとに鋼製巻尺で測定する。
		B	吊り中心間隔 (m)	$\pm 5$ (m L, m R)	鋼製巻尺で測定する。 (上段扉)
		B	サイドローラ 間隔 (o)	$\pm 5$ (o L, o R)	鋼製巻尺で測定する。
		B	吊り中心とス プレート間の距 離 (p)	$\pm 3$	金属製直尺、下げ振り、ピアノ線等で測定する。 (上段扉)
		B	吊り状態での 扉体の傾き (u)	$\pm 5$	トランシットを用いて左右岸のズレを測定する。 (左右岸) 注) 斜樋方式は対象外。
	2. 整流板	A	整流板形状 (a)	$\pm 5$	鋼製巻尺で測定する。
		A	整流板傾斜角 または曲面形 状 (b)	$\pm 3^\circ$	分度器、金属製直尺等または原寸形板、すきまゲージ等で測定する。
		A	整流板幅 (c)	$\pm 5$ (c L, c R)	鋼製巻尺で測定する。
		A	整流板中心か らローラ中心 までの距離 (d)	$\pm 5$ (d L, d R)	鋼製巻尺で測定する。
		B	シーブの間隔 (e)	$\pm 5$ (e L, e R)	鋼製巻尺で測定する。
		B	整流板および 上段扉の各連 結の位置 (f)	$\pm 3$ (f L, f R)	鋼製巻尺で測定する。
		B	整流板と取水 盤の間隔 (g)	$\pm 10$	鋼製巻尺で測定する。

測 定 個 所 標 準 図	摘 要
<p>1. 扉体</p> <p>2. 整流板</p>	

工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準		
水門設備 2. ダム用水門設備 (5) 直線多段式ゲート(掘付)	3. 戸当り	A 純径間 (a)	+3、-5 (a L、a R)	鋼製巻尺で測定する。		
		A 主ローラ踏面板中心間距離 (b)	±5 (b L、b R)	鋼製巻尺で測定する。		
		B サイドローラレール間の距離 (d)	±5 (d L、d R)	鋼製巻尺で測定する。		
		B 戸溝の幅 (e)	±3	鋼製巻尺、金属製直尺等で測定する。		
		B 主ローラレール踏面板と水密板との間隔 (f)	±3	金属製直尺等で測定する。		
		B 戸当り高さ (h)	±10	鋼製巻尺で測定する。		
		B 底部戸当り表面 (j)	3	真直度 (j <sub>v</sub> )	レベルで測定する。	
			1mm/m	平面度 (j <sub>f</sub> )	長さ1mの金属製直尺で測定する。	
		A 主ローラ踏面板 (k)	2 (4)	真直度 (j <sub>v</sub> )	( )内は軽構造部 下げ振りで測定する。	
			2mm/m	平面度 (k <sub>f</sub> )	長さ1mの金属製直尺で測定する。	
	A 側部水密面 (l)	2	真直度 (l <sub>v</sub> )	下げ振りで測定する。		
		2mm/m	平面度 (l <sub>f</sub> )	長さ1mの金属製直尺で測定する。		
	B サイドローラレール踏面板 (m)	5	真直度 (m <sub>v</sub> )	下げ振りで測定する。		
		2 (3) mm/m	平面度 (m <sub>f</sub> )	( )内は軽構造部 長さ1mの金属製直尺で測定する。		
	4. スクリーン	B 各スクリーン部の配置 (e)	±10	鋼製巻尺で測定する。		
		B スクリーン受桁の配置 (f)	±5	鋼製巻尺で測定する。		

測定箇所標準図	摘要
<p>3. 戸当り</p>	
<p>4. スクリーン</p>	

工種	分類	項目	管理基準値 (mm)	測定基準
水門設備 2. ダム用水門設備 (5) 直線多段式ゲート(据付)	5. 全体設備	B 据付基準線からローラレール踏面までの距離 (a)	± 5	鋼製巻尺で測定する。
	B 据付中心線からローラレール踏面までの距離 (b)	± 5 (b L、b R)	高さ 5 m ごとに鋼製巻尺で測定する。	
	B 底部戸当りの標高 (c)	± 5	レベルで据付基準点から測定する。	
	B 扉体全伸長 (d)	± 10	鋼製巻尺で測定する。	
	B 開閉装置据付標高 (e)	± 10	レベルで据付基準点から測定する。	
	B 据付基準線から開閉装置基準線までの距離 (f)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	
	B 据付中心線から開閉装置基準線までの距離 (上段扉用) (g)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	
	B 据付中心線から開閉装置基準線までの距離 (下段扉用) (h)	± 5	鋼製巻尺で測定する。	

